

31年ぶりに全国の舞台へ 山中柔道部が結果報告

8月22日から25日にかけて、福岡国際センター（福岡県）で行われた第48回全国中学校柔道大会。同大会に31年ぶりに出場した山中男子柔道部は、9月4日に町中央公民館を訪れ、佐々木茂人教育長と町体育協会・湊義雄会長に結果を報告しました。山崎寛樹君（3年）は「全国とのレベルの差を痛感しましたが、諦めずいい試合をすることができました。あの舞台に立てたのは、先生や保護者の方々の支えあってこそ。感謝の気持ちを忘れずこれからもがんばります」と力強く話していました。



民謡民舞少年少女全国大会 阿部伊祥さんが7位入賞

8月19日と20日に、東京で行われた「平成29年度民謡民舞少年少女全国大会」で、阿部伊祥さん（山田中3年）が、出場者約70名中、7位に入賞しました。阿部さんが民謡を始めたのは5歳のとき。幼馴染が可愛い着物を着て歌っている姿に憧れたからだそうです。民謡越田会（越田仁蔵会主）で民謡を習った彼女は「先生や応援してくれた皆さんに恩返しが出来た」と喜びを表現。「来年からは一般の部へ出場する。大人と同じステージに立っても結果を出せるようにしたい」と今後の意気込みを語りました。

復活・山高の海の運動会 砂浜と海上で熱く競い合う

8月30日、浦の浜海水浴場で、山田高校（及川研一校長・生徒106人）の海の運動会が開催されました。このイベントは震災後休止していましたが、ことし浦の浜海水浴場が再開したことに合わせて復活。生徒らは、砂浜と海上で、ビーチバレーやカヌーレースなどの競技を楽しみました。終了後は、休止前の恒例だった砂浜の清掃活動を実施。福士美咲さん（3年）は「体育館やグラウンドと違った砂浜の上での競技は、とても楽しくてワクワクしました」と笑顔を見せました。





田町のめだい

今月の題字 坂本 麗君 (山田南小6年)



大津波警報発表を想定 総合防災訓練に1105人

9月3日、平成29年度山田町総合防災訓練が行われました。早朝に大地震が発生し、大津波警報が発表されたとの想定で行われたことしの訓練では、各地区で避難所が開設され、1105人が訓練に参加。主会場となった船越小学校では、大浦・田の浜地区からの避難住民移送訓練や林野火災防ぎょ訓練、県の防災ヘリによる救出救助訓練など、さまざまな訓練が行われました。昨年は台風10号の影響で中止となった防災訓練。佐藤町長は訓練後の本部長訓示で「各種災害に備え、町民全体の防災意識の高揚を図りたい」と述べました。

荒川小児童が屋上から工事見学 将来の町なみに思いをさせ

9月13日、荒川小学校（大坊隆^{たかし}校長）の児童29人が、町役場において校外学習を行いました。これは、子どもたちに町なみを見ながら震災からの復興について理解を深めてもらおうと、同校が毎年実施しているものです。児童らは、町職員から震災当時の様子やまちづくりについて説明を受けた後、屋上から町中心部を見学。なかなか見ることでできない風景に歓声を上げながらも、1年前の写真と真剣に見比べていました。同校6年の芳賀莉^りノ杏さんは、「砂地ばかりが目立ったけど、ここからどんな町になるのかすごく楽しみ」と目を輝かせていました。

